





描き出す陣中閑日月の一齣

**京城納八景** 五ヶ所廣宮博物院 往時大隈侯の邸にもりかつた紅土の、カラ／＼如かなる花を踏んで行くと、西庭、造品に飾られた修好殿に奉じた。土に踏いた黒い木方の瓦、細い縁に描かれた、耳ふち、髪けな口、草の汁に染つた大曲、氣味のよくなる、一心に天井を見送つて是れ「日露戦役の時だす」海州や甲府の首が丁度こゝ

續いて八個の爆彈ばくだん！大迫將軍の苦笑

安北道遼南	十一	八	日
安南道平原	十一	月	九
高北道全義	十一	月	十
湖南道湖南	同		
畿道加平	同		
廣州	同		
			早十七日

臣は谷口副岡

攻撃は成功した軍司令部は全滅と迄  
はいかねが大部の損害である大迫閣  
下は御負傷と認めます」とやつた尙  
下は御負傷と認めます」とやつた尙

訴訟合事件

既電の如く京釜鐵道工事聯合事件  
控訴判決言渡は十四日午前十時大邱



主文

請負人の見積額 如何に

連絡船の欠

理由書  
(被告供述)抑々競争人札と隨  
契約との重なる差違の一は(便宜上)

京都本町電話八九〇番

七歳より下の

我然に因りて爲す如く是より万村に

旨を述べ、自の目  
てして劈頭第一筑後川の橋梁二箇所を破壊  
し此の騎兵隊の働りきであつた

龍山林藥房製劑の  
 ヨクキククスリハ  
 マラリア持効丸  
 金拾貳拾五拾銭  
 〇ニセモノに御注意  
 本舖山林藥房  
 京坂本町一丁目  
 代理店 山岸天祐堂  
 時計責任販賣  
 時計責任販賣

九重香油  
 大正五年拾壹月拾四日登記ス  
 安城出張所  
 地方法院



# 巨艦伊勢

## (二) 進水式参列記

十二月三日、神戶造船所の伊勢型戦艦、進水式に参列した。此の戦艦は、名代伊勢型戦艦の第一号艦として、最も重要な艦隻と見られてゐる。

伊勢型戦艦は、排水量三万二千二百六十噸、全長二百四十四メートル、全幅三十七メートル、吃水十メートル、最高速度三十二ノット、主砲四門、副砲十二門、高角砲八門、機銃十二挺を備へてゐる。この戦艦は、神戶造船所で建造され、十二月三日、進水式に参列した。

進水式は、午後二時、神戶造船所の大工場の前、伊勢型戦艦の進水式に参列した。この戦艦は、名代伊勢型戦艦の第一号艦として、最も重要な艦隻と見られてゐる。

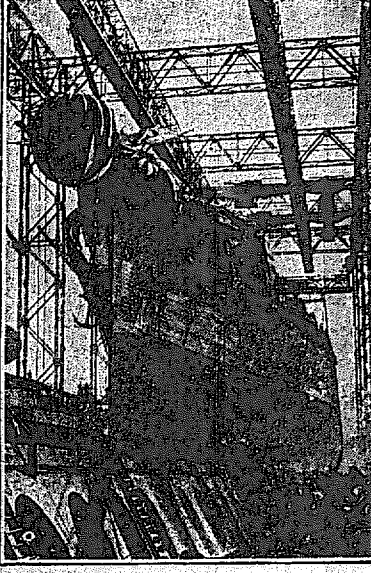
# 宮本武蔵

## 第二百十七席 浪上義三郎退記

宮本武蔵の物語は、浪上義三郎の退場を記す。浪上義三郎は、宮本武蔵の弟子であり、彼と共に多くの戦いを戦つた。しかし、彼は最終的に武蔵に敗れ、退場した。

浪上義三郎は、武蔵の弟子であり、彼と共に多くの戦いを戦つた。しかし、彼は最終的に武蔵に敗れ、退場した。浪上義三郎の退場は、武蔵の成長と、彼の道義の勝利を象徴する。

# 進水臺上の伊勢



# 宮本武蔵

## 第二百十七席 浪上義三郎退記

宮本武蔵の物語は、浪上義三郎の退場を記す。浪上義三郎は、宮本武蔵の弟子であり、彼と共に多くの戦いを戦つた。しかし、彼は最終的に武蔵に敗れ、退場した。

浪上義三郎は、武蔵の弟子であり、彼と共に多くの戦いを戦つた。しかし、彼は最終的に武蔵に敗れ、退場した。浪上義三郎の退場は、武蔵の成長と、彼の道義の勝利を象徴する。

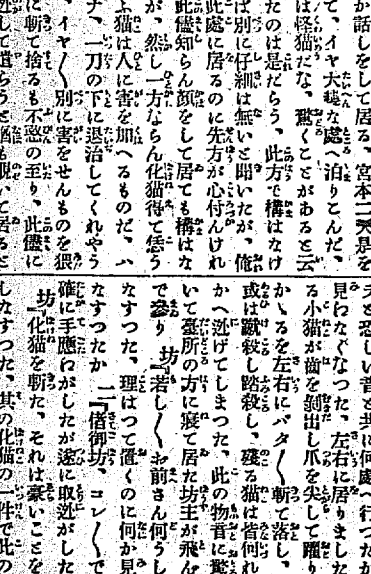
# 宮本武蔵

## 第二百十七席 浪上義三郎退記

宮本武蔵の物語は、浪上義三郎の退場を記す。浪上義三郎は、宮本武蔵の弟子であり、彼と共に多くの戦いを戦つた。しかし、彼は最終的に武蔵に敗れ、退場した。

浪上義三郎は、武蔵の弟子であり、彼と共に多くの戦いを戦つた。しかし、彼は最終的に武蔵に敗れ、退場した。浪上義三郎の退場は、武蔵の成長と、彼の道義の勝利を象徴する。

# 進水臺上の伊勢



# 宮本武蔵

## 第二百十七席 浪上義三郎退記

宮本武蔵の物語は、浪上義三郎の退場を記す。浪上義三郎は、宮本武蔵の弟子であり、彼と共に多くの戦いを戦つた。しかし、彼は最終的に武蔵に敗れ、退場した。

浪上義三郎は、武蔵の弟子であり、彼と共に多くの戦いを戦つた。しかし、彼は最終的に武蔵に敗れ、退場した。浪上義三郎の退場は、武蔵の成長と、彼の道義の勝利を象徴する。

# 宮本武蔵

## 第二百十七席 浪上義三郎退記

宮本武蔵の物語は、浪上義三郎の退場を記す。浪上義三郎は、宮本武蔵の弟子であり、彼と共に多くの戦いを戦つた。しかし、彼は最終的に武蔵に敗れ、退場した。

浪上義三郎は、武蔵の弟子であり、彼と共に多くの戦いを戦つた。しかし、彼は最終的に武蔵に敗れ、退場した。浪上義三郎の退場は、武蔵の成長と、彼の道義の勝利を象徴する。

# 進水臺上の伊勢



# 宮本武蔵

## 第二百十七席 浪上義三郎退記

宮本武蔵の物語は、浪上義三郎の退場を記す。浪上義三郎は、宮本武蔵の弟子であり、彼と共に多くの戦いを戦つた。しかし、彼は最終的に武蔵に敗れ、退場した。

浪上義三郎は、武蔵の弟子であり、彼と共に多くの戦いを戦つた。しかし、彼は最終的に武蔵に敗れ、退場した。浪上義三郎の退場は、武蔵の成長と、彼の道義の勝利を象徴する。

# 宮本武蔵

## 第二百十七席 浪上義三郎退記

宮本武蔵の物語は、浪上義三郎の退場を記す。浪上義三郎は、宮本武蔵の弟子であり、彼と共に多くの戦いを戦つた。しかし、彼は最終的に武蔵に敗れ、退場した。

浪上義三郎は、武蔵の弟子であり、彼と共に多くの戦いを戦つた。しかし、彼は最終的に武蔵に敗れ、退場した。浪上義三郎の退場は、武蔵の成長と、彼の道義の勝利を象徴する。

# 進水臺上の伊勢



# 宮本武蔵

## 第二百十七席 浪上義三郎退記

宮本武蔵の物語は、浪上義三郎の退場を記す。浪上義三郎は、宮本武蔵の弟子であり、彼と共に多くの戦いを戦つた。しかし、彼は最終的に武蔵に敗れ、退場した。

浪上義三郎は、武蔵の弟子であり、彼と共に多くの戦いを戦つた。しかし、彼は最終的に武蔵に敗れ、退場した。浪上義三郎の退場は、武蔵の成長と、彼の道義の勝利を象徴する。

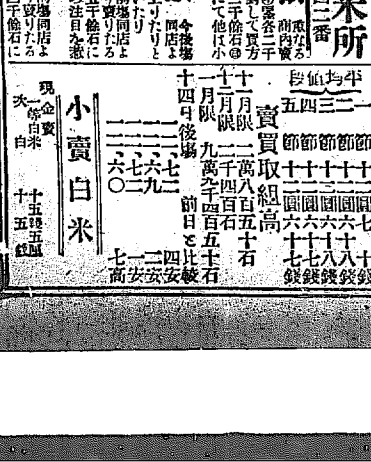
# 宮本武蔵

## 第二百十七席 浪上義三郎退記

宮本武蔵の物語は、浪上義三郎の退場を記す。浪上義三郎は、宮本武蔵の弟子であり、彼と共に多くの戦いを戦つた。しかし、彼は最終的に武蔵に敗れ、退場した。

浪上義三郎は、武蔵の弟子であり、彼と共に多くの戦いを戦つた。しかし、彼は最終的に武蔵に敗れ、退場した。浪上義三郎の退場は、武蔵の成長と、彼の道義の勝利を象徴する。

# 進水臺上の伊勢





# 華やかながい 天長節の夜會

るたし製創の者學

## 美顔白粉

高貴御料

生れつき色が白いやうな白さに附く白粉

花の如き貴夫人令嬢方の御粧ひ

各官家御用  
美容術大家 マリー・ルウ井ス嬢謹話

名にしおふ

天長節の夜會と申せば、日本で第一の目出度き日の、今日を晴の夜會であります。お城

の邊には瑞雲飄飄き、霞ヶ關に百花繚亂といふ有様、誠に目出度しきも目出度き大夜會に席を列せられる貴夫人令嬢方の美しい御粧ひこそは此世の美しいもの、中の最も美しいお姿でありませう。其美しい御粧ひの白粉には大方美顔白粉が召された様拜見致しました。

天人か天使

かと思ふばかりの當夜の貴夫人令嬢方の中にて、及ばず乍ら私が御粧ひに力を盡しました方々には、私は豫てから日本で最良の白粉と撰定して高貴方に御薦申し上げました美顔白粉にて立派な効果を挙げましたが、其他の方

々も白粉は矢張一番上品に化粧榮のする美顔白粉をお用の様でしたそれはあの白粉に特有の生來の様な純潔な白さと色艶で分ります。

▲光榮堂に是に過ぎず記して慶を百萬の愛用家諸嬢に頒つ!!

▲名譽ある美顔白粉を創製したる

桃谷研究試驗所

▲顧問

醫學博士 丹波敬三氏  
醫學博士 山本淳二氏

▲主任

醫學士 桃谷幹次郎  
醫學士 小磯勝次郎  
同業學士 齋藤健助

東京 館天順谷桃 大坂







三郡共補作、拂広の爲め取引上、千九百十八人にして收入を千八百四  
十圓なりと



愛馬を打たせられつゝ親しく閱兵し給  
 鵬翼悠々天を翔り、劍戟燦然地

▽天恩枯骨に及ぶ

二百七十里を二日間に  
飛行機は第三十四號機

▽臨時列車運轉  
坂本申尉第三十五號機は伊庭中尉、  
三十六號機は阿部中尉、第三十九號  
機は小島中尉、機銃十八日久留  
發所附近、航程二百七十里を途中、  
機に一泊するのみにて二日間に飛翔  
したなり（十五日に金谷中尉、分遣  
機に飛翔）

演習後の大宴會は十五日午後

● **流石は満洲** 冬枯に黄金の雨

銀相場で大儲け 秘密に公金

銀の値がメキ／＼騰るので輸入品の物價が上り、肉類の如きは一割方高くなり目下

◆大連では牛肉、ロース百匁五千錢、鶏肉並五十錢、豚肉並二十四錢といふ相場である。芝罘迄から来る蔬菜類も

◆銀相場 の關係で幾らか高くなりそれに各格別の季節に入り石炭、薪炭代など日用必需品の上に餘計な増加を來す。

でもないが奉天送りの日本人の内には假令難進を見越して支那銀行に兌換を要求しその差額で

◆何萬といふ儲けをした者あり、時に手にした洋銀は市面に投げ出して再び私利私慾を得たもの、中には公を達して利を圖つた不慮者もあるといふだ金貨位位の幣制改革を言つても所ん女の不目算に及ぶもので

◆日本人の内にも此れを考慮して居るものはないやうであらう一つ誤りを陳述する譯人は此處まで危険地帯を行

前借を踏み倒して逃電

川仲四二丁目柳屋抱藝妓成太郎事  
しづ(二)は大正三年十二月預七百

井上いのうえ

四日夜大連支那人町小岡子に於て  
戒衛行中の我が警官二名に發砲し  
走せる二名の支那人あり其の際警  
は未だ判明せず目下極力搜索中な  
る

立像たつざうは新羅しんら、坐像ざざうは高麗こうらい、  
王わう像ざう勿な論ろん主しゅ王わう事じ務む官くわん未み公こう氏しは

佛僧定法につき語りて曰く朝  
 佛僧の鑑定は斯道に對する相當  
 の識を要するは無論のことであるが  
 人に覺えて置いてよきことば立  
 てゐたの好いものは大概新羅佛と  
 差支ないことである高麗像にな  
 る坐像が大分多く李朝のものにな  
 る鑑んぞ坐像と云つて差支ないやう  
 又線彫刻の如きも新羅佛は絲  
 了す精巧を極めて居るが高麗佛に  
 五郎妻會我部まつ（之が朝鮮に來り  
 龍山采町代書家福島一郎の内縁の妻  
 となりたるも生計困難なる爲め同女  
 を喚物にせんとて屢々しづを誘へ來  
 りて百十數回を主人に立換へさせ尙  
 ほ懷かし前借を踏倒して何れにか住  
 替へさせんとすたり然るに此事早く  
 も主人の嗅ぎ知る處となつて果さざ  
 りしより止む無く一旦大阪に歸國し  
 たるが更に十月初め頃しづが京城  
 本町二丁目女藝結高田さわの周旋に

●留置場

橋の厄介になるのは内地婦人は  
で無い、京城邊では朝鮮婦人も  
多い朝鮮婦人は内地の女に比る  
る汚著したものではないと騒ぎも  
ない、地方へ行くと夫殺しといふ  
罪を犯した女も見受

其筋の嚴重な取締しとまり巧くわうな深夜の隙ひま

可を得て龍山に滞在申まつは右の  
 姫を知つて直ちに龍山に赴き嫌が  
 こゝして見るもの趣くもの耳珍しく  
 可を得て龍山に滞在申まつは右の  
 姫を知つて直ちに龍山に赴き嫌が  
 こゝして見るもの趣くもの耳珍しく

目其筋に拙索力を顯出でたり

龍崎南條來朝、原田住の松田、龍崎誠、石原謙、藤代、大田、長橋、町居、齋藤、土本、偶、氏及び町丁目居住、佐金、業、藤、り、の、附、を、根、手、取、り、金、三、千、圓、に、明、治、四、十、三、年、三、月、五、日、分、利、を、附、し、た、金、の、支、拂、ひ、請、求、紙、を、京、城、地、方、法、院、提、起、せ、し、請、求、要、旨、に、依、れ、ば、松、田、は、父、藤、井、友、吉、が、明、治、三、十、八、年、一、月、中、に、其、の、遺、産、約、十、三、萬、圓、の、整、理、を、多、額、讓、士、に、依、頼、し、其、際、同、讓、士、に、

のした京城居住の男を慕ふやうになるからで斯ういふ聯合の夫の方から告訴して來るから警察署の方でも夫婦を引致して取調ぶることになる然に最も滑稽なのは其の本夫ながら其の妻を許して情夫だけを罰して呉れと申出るものがあることで呆れ返つた體である、此の種の人だ、

多いのは妾の如く装ながら醜業を營むもので之は甲の男が厭に

立てたるにも拘らず今日迄右の二  
圖を支拂はざるを以て此の訴訟

びたるものなりと

大根馬車だいこんばしやこ

電車の衝突でんしゃのしうつとく

を注いでみて検査次第多くは拘留留  
分に附して居る、斯うして世を渡る  
女は處分を受けても別に疵ぢごとも思  
はす洒々構込んでゐる、併しこん

き京城黄金町五丁目を光熙門に

通行したる際折柄に方より疾走  
來りたる京電電氣株式會社八十七  
電車を避んと歩行中なる軌道より  
に走り出でたるも遂に車體は荷馬  
に衝突し其の反動に依りて伯同は  
部を強打して人事不省に陥りたる  
に本町署の警官に付け車掌と共に  
救助して同人を總督府醫院に搬き  
しも臨急手當を加へしかば幸く甦生  
しも尙治癒二週間を要すべく治癒  
は會社より支給し同人は親戚なる  
某官の閉口するものは臨月の妊婦と  
なことをするものもある、而して最  
も警官の閉口するのは臨月の妊婦と  
なことをするものであらうと云ふ

來る女  
—3—

世渡り都會の裏面  
が留置場に入ると呆れ返るほど  
氣を装つてゐる京城では殺人とい  
ふやうな重罪犯人は滅多にない比較  
多いのは意逆罪である朝鮮人は田  
に相當な財産を持つたもので妻  
から夫に勤めて京城に出稼ぎす  
る者が、京城に来て見

切實に旅行する観光團で驚愕させられた。  
東京八喜料理店合衆新聞記者らによる三  
夜刺金三巻料理金五巻を山崎井々濱六  
三巻(金三巻)なり  
浪花館。某茶屋留置木下柳。應にて開演中  
なるが相續して好劇にて連夜入りりの盛況なり  
八月十日(夜)の市街の喧嘩  
山口貴廣會衆大暴動、いんよう(一)  
屏風法師大暴動、喜慶の材、  
分、五地半初七日市街、普間四  
分、天、平、初七日市街、普間四

大阪屋號書  
大坂屋號書  
新荷著  
保稅品有

水銀  
角酸加里

釘本藤次郎本店  
京坂本町二丁目  
四四五・二七七匹馬場寶城二五六

配合に因つて顯る  
 ハカリ明のヘリン地は其配劑  
 の優れたる室に理想以上なりと  
 諸大家は之を賞讃せり  
 かぜは勿論總べて熱病に罹られ  
 たる場合には速かにハカリ明の  
 ヘリン地を服用して熱を  
 解き全快せ  
 らるべし。



新義州常盤町  
 緑屋旅館  
 電話六四番



